タ チ ウ オ 漁 業 技 術 交 流 会

主任専門技術員　金　城　　宏

1. 目　的

本県では深海性のタチウオについては以前から深海一本釣り漁で混獲されていたが、本土市場で高値で扱われていることがわかり、鮮度保持及び流通面の収集のため平成5年2月に九州に先進地視察を行い、その年から本格的なタチウオ漁が始まった。このため未利用地区の漁家経営の向上を図る目的で技術交流会を実施した。

2. 交流先

浦添宜野湾漁業協同組合

3. 日　程

平成7年10月23日

4. 参加者

本部漁協一謝花喜和、勝連漁協一与那下英輝
北谷漁協一山口栄勝、渡名喜漁協一比嘉幸雄
沖縄県漁連一加治久勲・新嵩朝則
沖縄県水産業改良普及所一久貝一成所長、
諸見里聡普及員

5. 交流内容

5トン未満船2隻に分乗し朝方出港、残波岬の南西側漁場に50分で着く。すでに30隻余のタチウオ漁の操業が始まっていた。魚探で水深を調べて錨をおろす。水深は280～350mの砂泥質である。餌は3枚におろし斜めに4つ切り（二双針）するか、または横に3つ切（一本針）にする。餌は主にサンマを使用している。電動一本釣り機に巻かれたステンワイヤー（400m）の幹縄と幹糸の接点に付けた水中ライトから先に落とし、順次枝糸を落とし最後に重りを落とす。底におもりがつくと1～2m手繰る、または底におもりがついたままにして釣感を待つ。タチウオは共食いするので、釣針全部にかかるのを待っていると食害が多いので、1～2尾釣感があれば巻き揚げた方が良い。それを繰り返しながら漁場を移動したりする。漁獲は潮が速い方が良い。速過ぎても小潮よりは漁獲は良い、小潮では手動でしゃくらなければならない。漁獲率が高いとみられる底質は細砂か泥底域である。

（漁具）

漁具漁法は瀬魚一本釣りとほぼ同様で、枝縄間は1.5m、釣元は30～50cm、さらにその先の釣針部にビニールホースに通した10cmのワイヤーで釣針を結ぶ5本付けである。

（漁船での鮮度保持）

タチウオは鮮度が大事で、特に表皮の銀箔（グアニン）がはげると値段が相当下がるので、釣りあげたら頭を持ち上げ、エラを刃物で刺し空気を抜きビニール袋に入れてボックス（水氷）に入れる。

（漁期）

漁期は8月～12月である。6月～7月は漁獲は少ない。

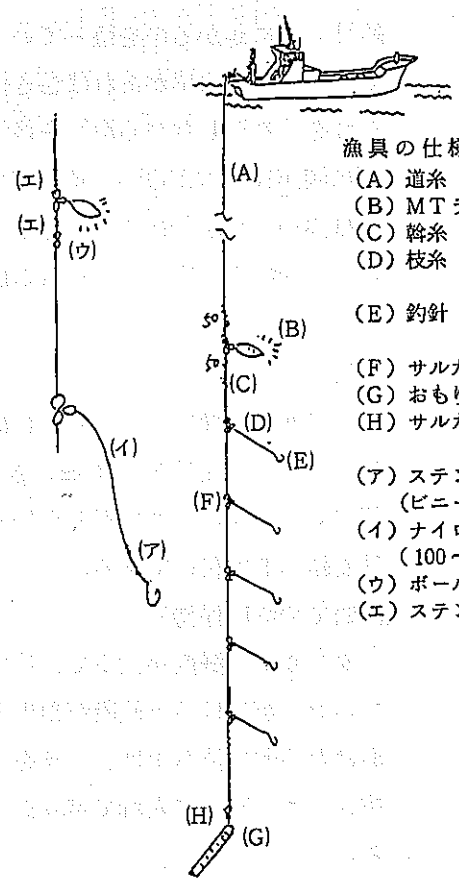
6. 所　感

海上での技術交流を終え、さらに意見交換会を漁協ホールで催した。参加者は地元タチウオ漁研究会をまじえた25名であった。まずはじめに普及所長から本県水産試験場でこれまで調査したタチウオの現況報告が行われ、次に地元研究会からタチウオ漁の経過と現況報告が行われた。その内容は、平成5年から本格的にタチウオ漁が始まり、1船1人乗りで日に100kgの水揚げがあって漁家生活を支えてきたが、平成7年度からは半分の水揚げで厳しくなりつつあり、魚体も小型化へと進んでいるので、その対策を早急に図る必要があるとの事でした。

現在のところ、漁場は本県南部の残波岬の南西側海域部分に限られており確かに過密操業である。そのままの状態ではお互いに共倒れになる恐れがあるので、タチウオ漁を営んでいる漁協を中心とした漁業間の話し合いの場作りを普及職員が仲立ちして推進する必要がある。

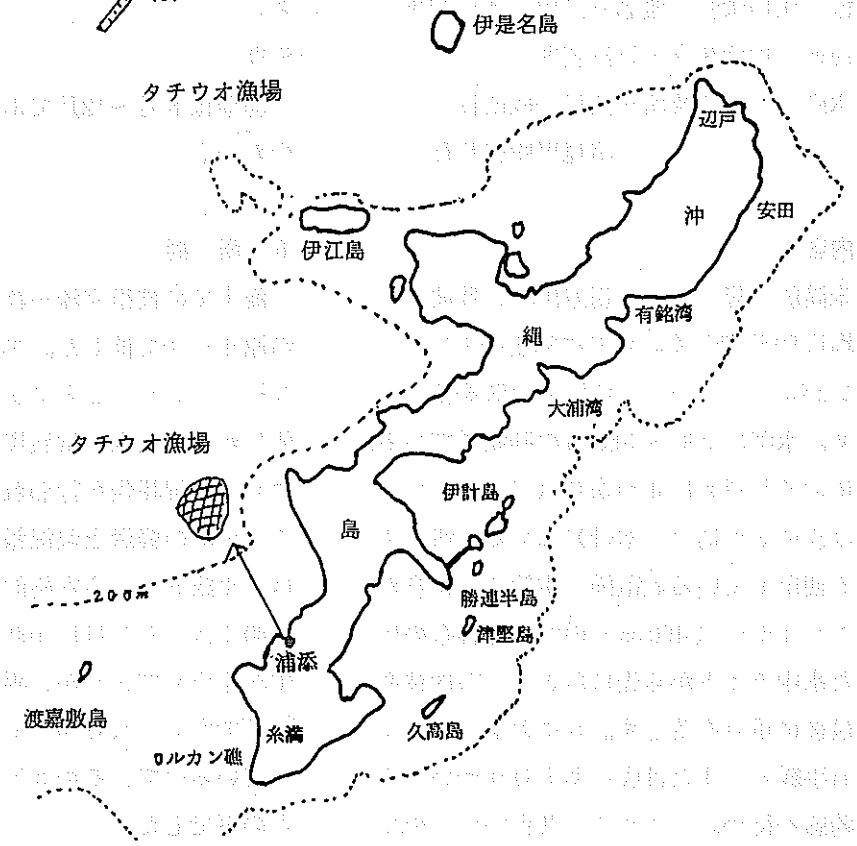
なお、水産試験場に対して東側海域も含めた広い範囲に亘って漁場調査を要望したい。

タチウオ釣り（一般構成図）

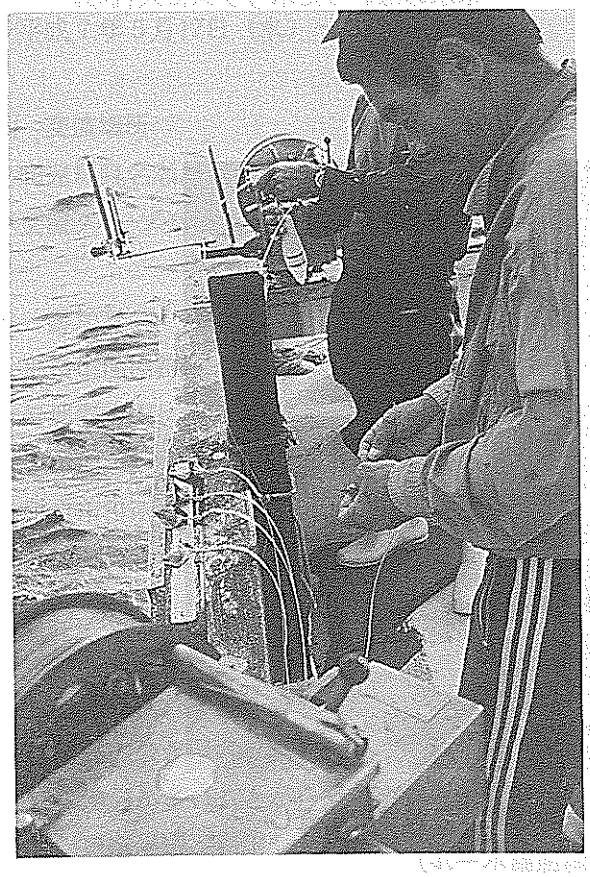


漁具の仕様

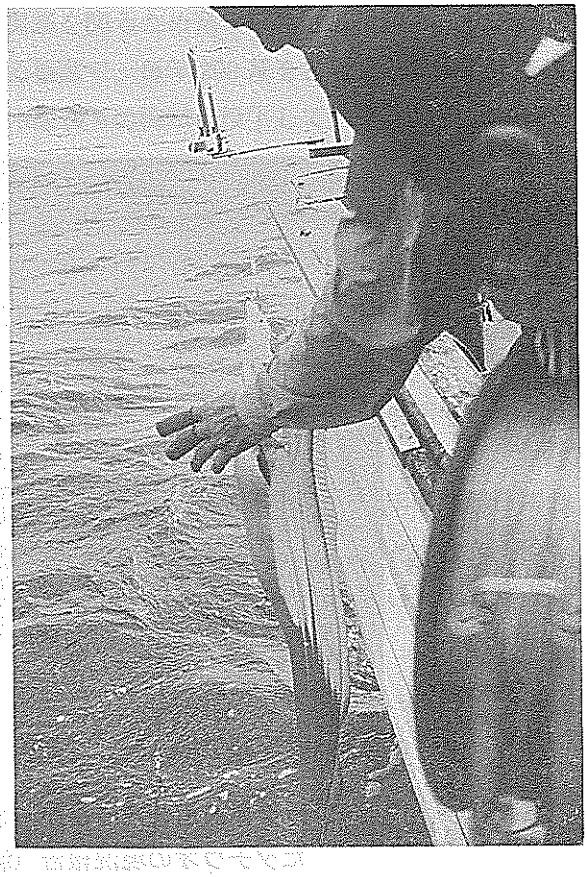
（A）道糸　ステンワイヤ　#31／400 m
（B）ＭＴライト　単２個入れ
（C）幹糸　ナイロンテグス　クロ、120～150号（1.5～2 m）
（D）枝糸　ナイロンテグス　クロ、100～120号
　　ビニールワイヤ　＃30. 10 cm
（E）釣針　オーシャネル針　8号
　　ステン二双針　　4号
（F）サルカン　クレン親子サルカン　4／0×3／0
（G）おもり　鉄　2kg
（H）サルカン　ボールベアリング
　　4インターロック付
（ア）ステンワイヤ（#30）
　（ビニールホース付）
（イ）ナイロンテグス
　（100～120号）
（ウ）ボールベアリング（7号）
（エ）ステンワイヤ（#30）50cm×2



- 平成７年10月23日、午前７時セリ開始（浦添宜野湾漁協）
- あるタチウオ漁業者は１人で２日間操業で約100㎏のタチウオを水揚げした。
- 当日のセリ値は㎏当り 400 ～ 650 円であった。
- タチウオの重さは、3尾（5.2Ｋ）、4尾（2.7～2.8Ｋ）、5尾（3.1Ｋ）、9尾（5.2Ｋ）
- 以前は日帰り操業で 100 ㎏の水揚は可能であった。



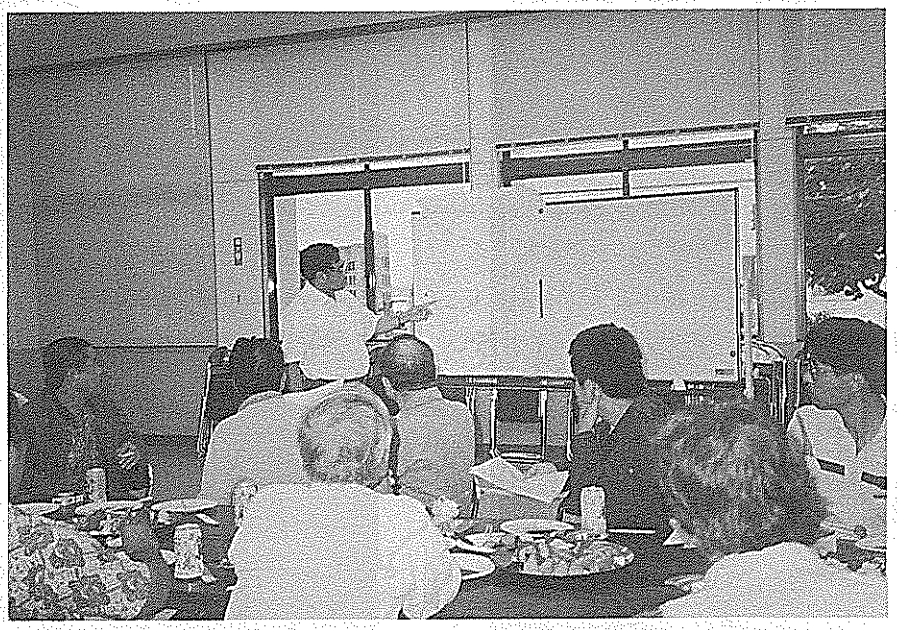
餌付け（餌はサンマ、５本付け）



あざやかな銀色に輝くタチウオ

釣針をほどき、エラを刃物で刺し空気を抜く。

タチウオはビニール袋に入れて、
水氷のはいったボックスに入れる。



水産業改良普及所長から本県水産試験場で、これまで調査したタチウオの現況報告（浦添宜野湾漁協ホール）